

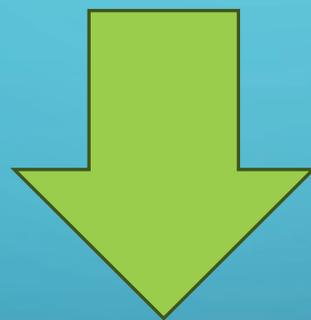
# 千葉キャンペーン

## 12/04

22S5036A 阿部直斗

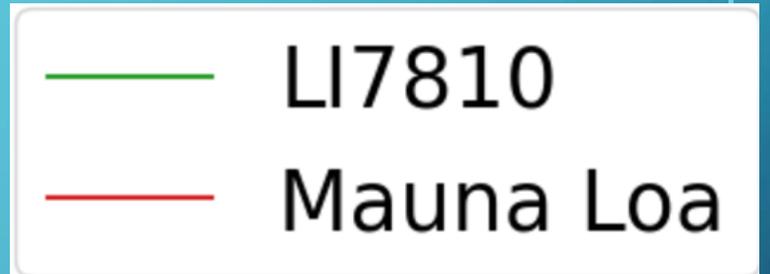
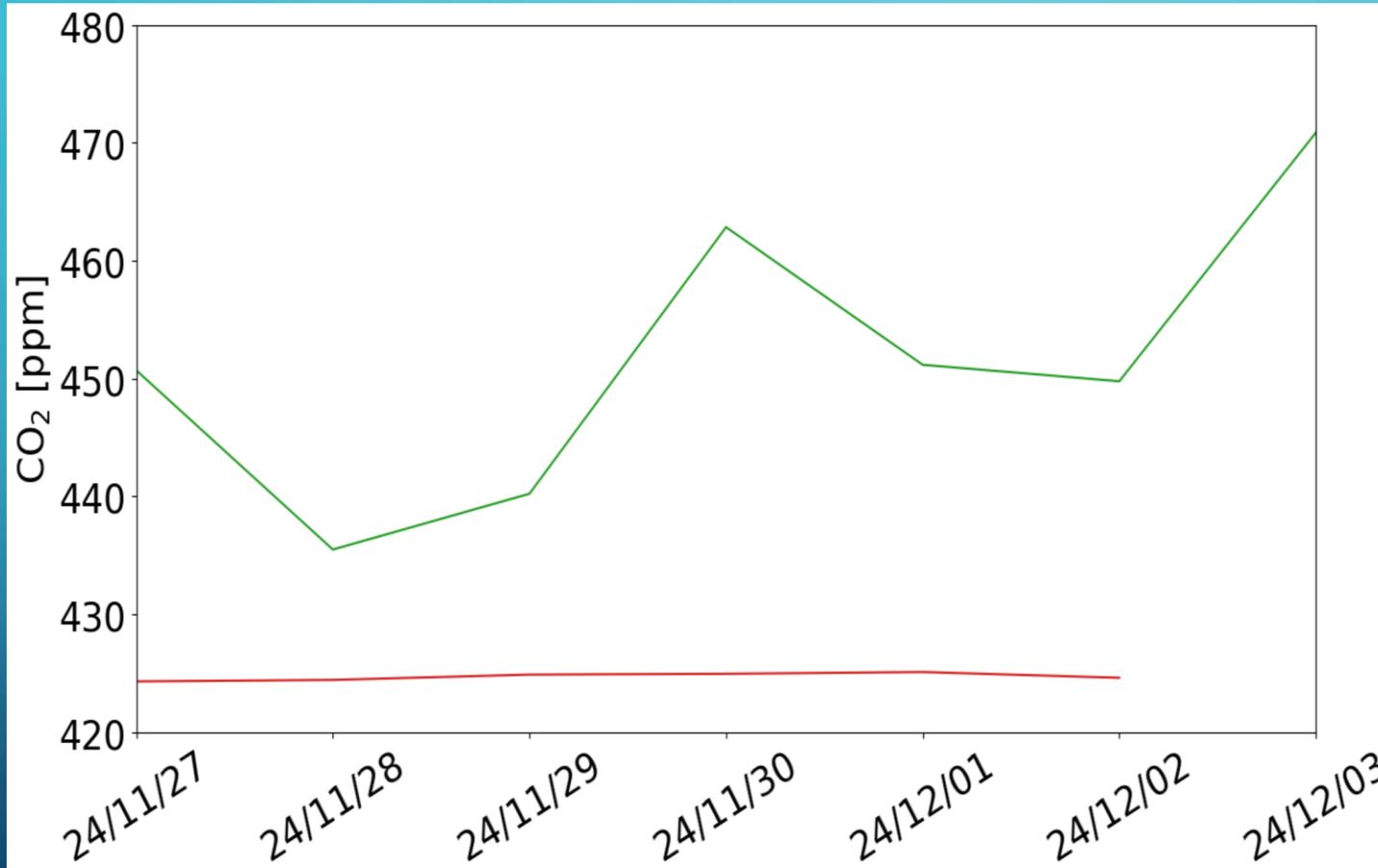
## 目標

LI7810によるCO<sub>2</sub>データと様々なデータを比較



そこから何が分かるか

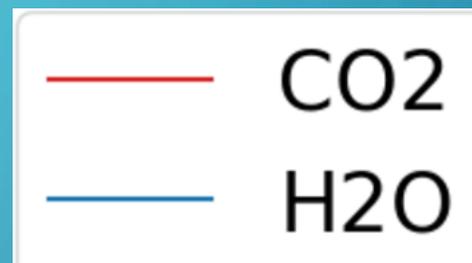
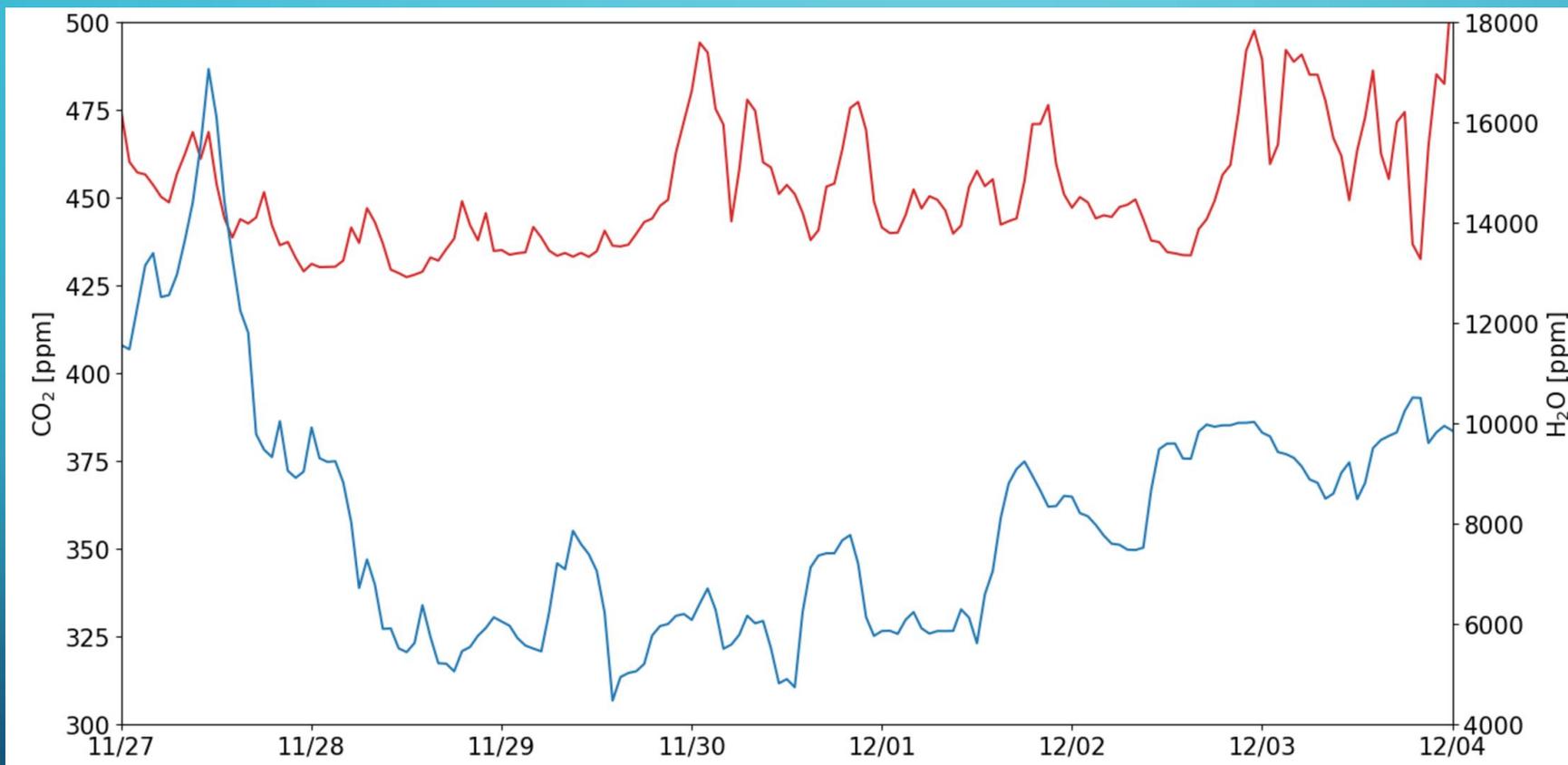
# 11/27~12/03 CO2 LI7810 & マウナロア



\* マウナロアの  
12/03のデータがこ  
の段階で公開されて  
いなかったなのでデー  
タが欠損している

マウナロアは常に一定、LI7810は大きく変動

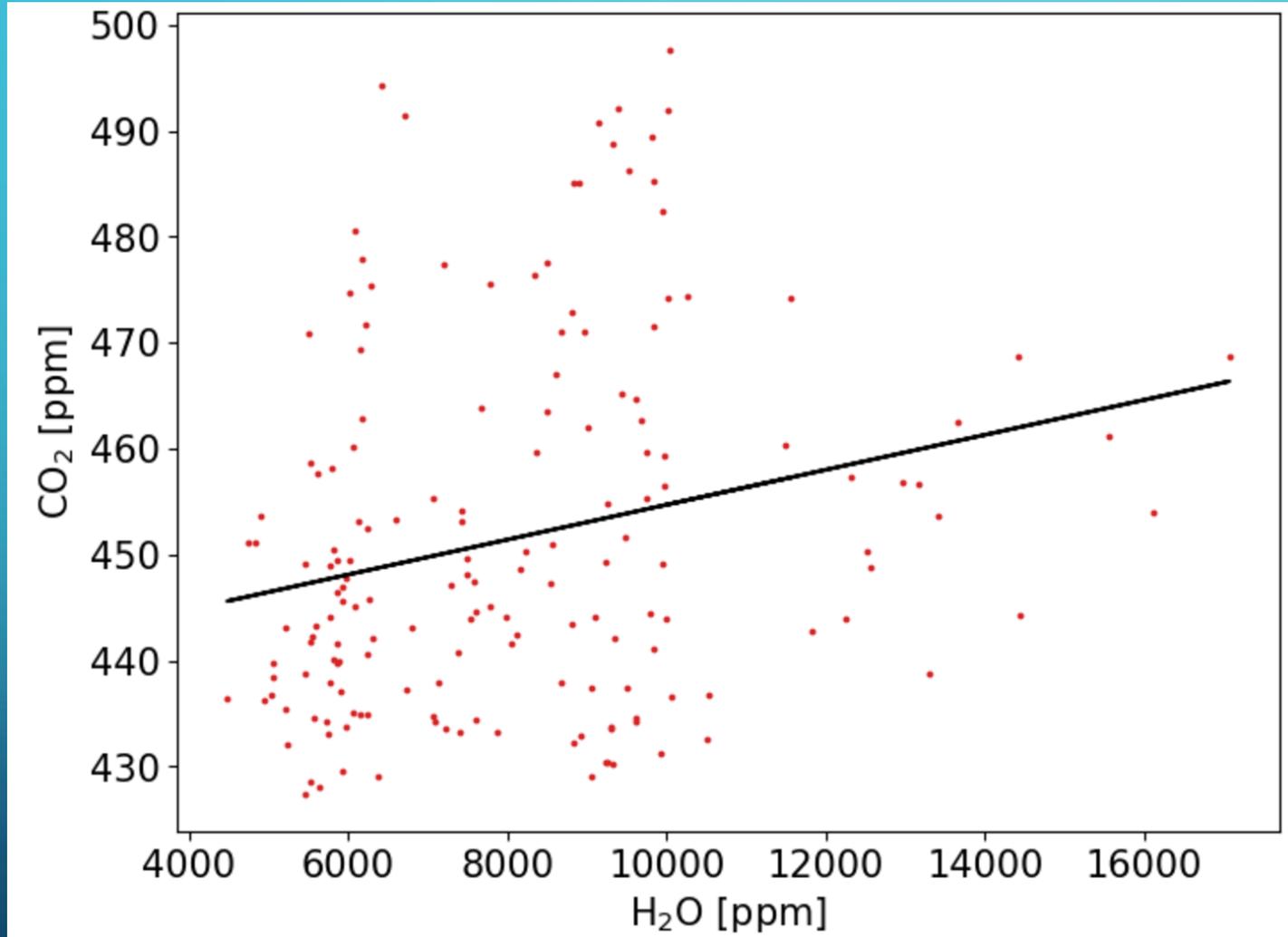
# 11/27~12/03 CO<sub>2</sub>(LI7810)&H<sub>2</sub>O(LI7810)



11/27~12/03  
までの二酸化炭素と水蒸気の1  
時間ごとのデー  
タを利用

グラフの変動はPM2.5の時とは正反対に大きく異なっている

# 11/27~12/03 CO<sub>2</sub>(LI7810)&H<sub>2</sub>O(LI7810)



相関係数: 0.2389

回帰直線

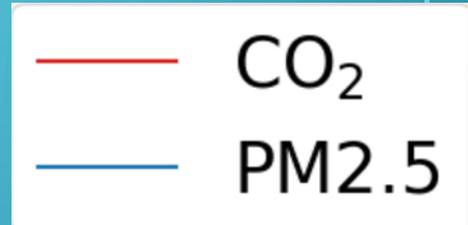
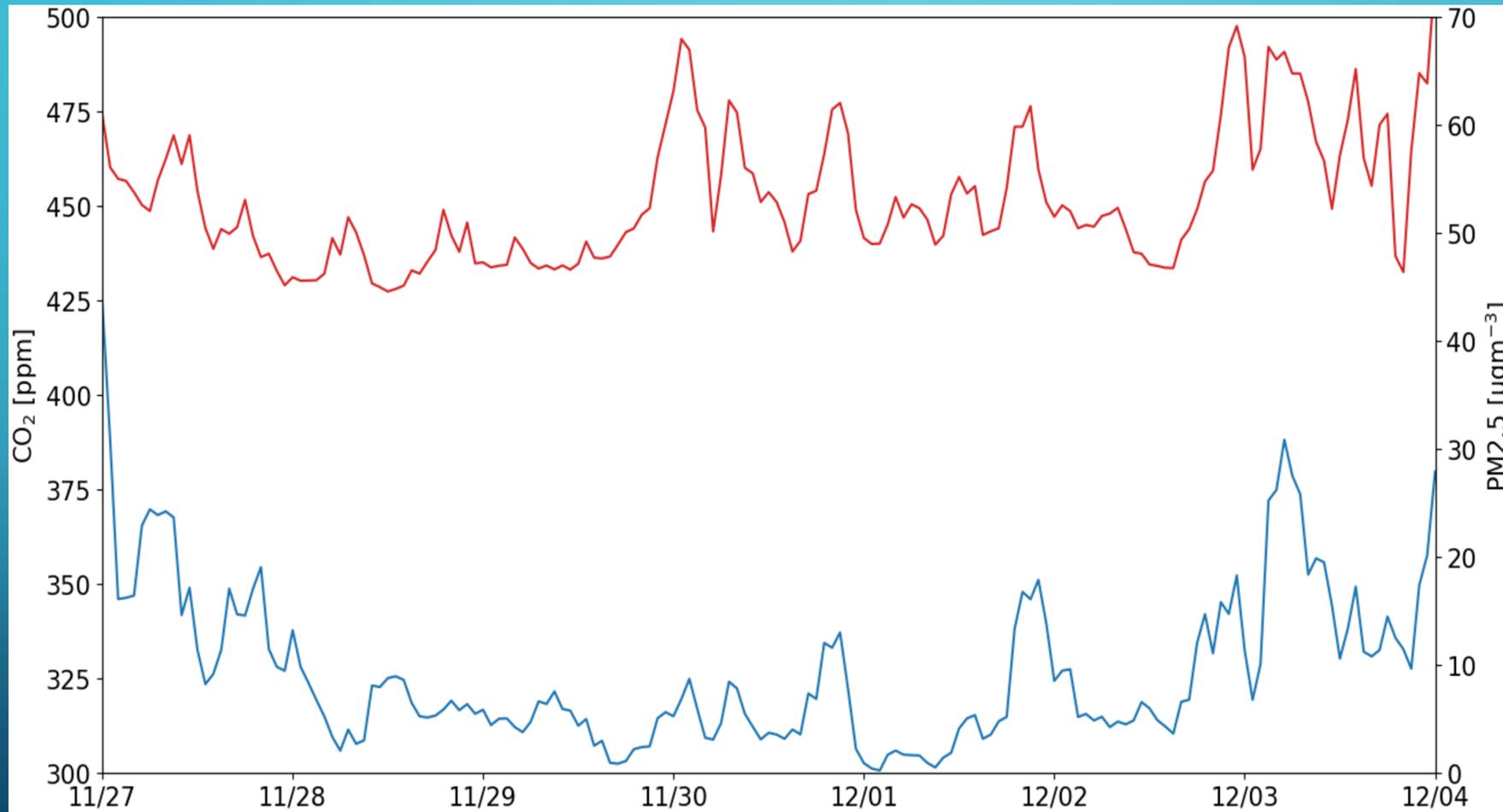
傾き: 0.0016

y切片: 438.2238

11/27~12/03までの  
二酸化炭素と水  
蒸気の1時間ごとの  
データを利用

相関係数が0.2と低く、弱い相関である

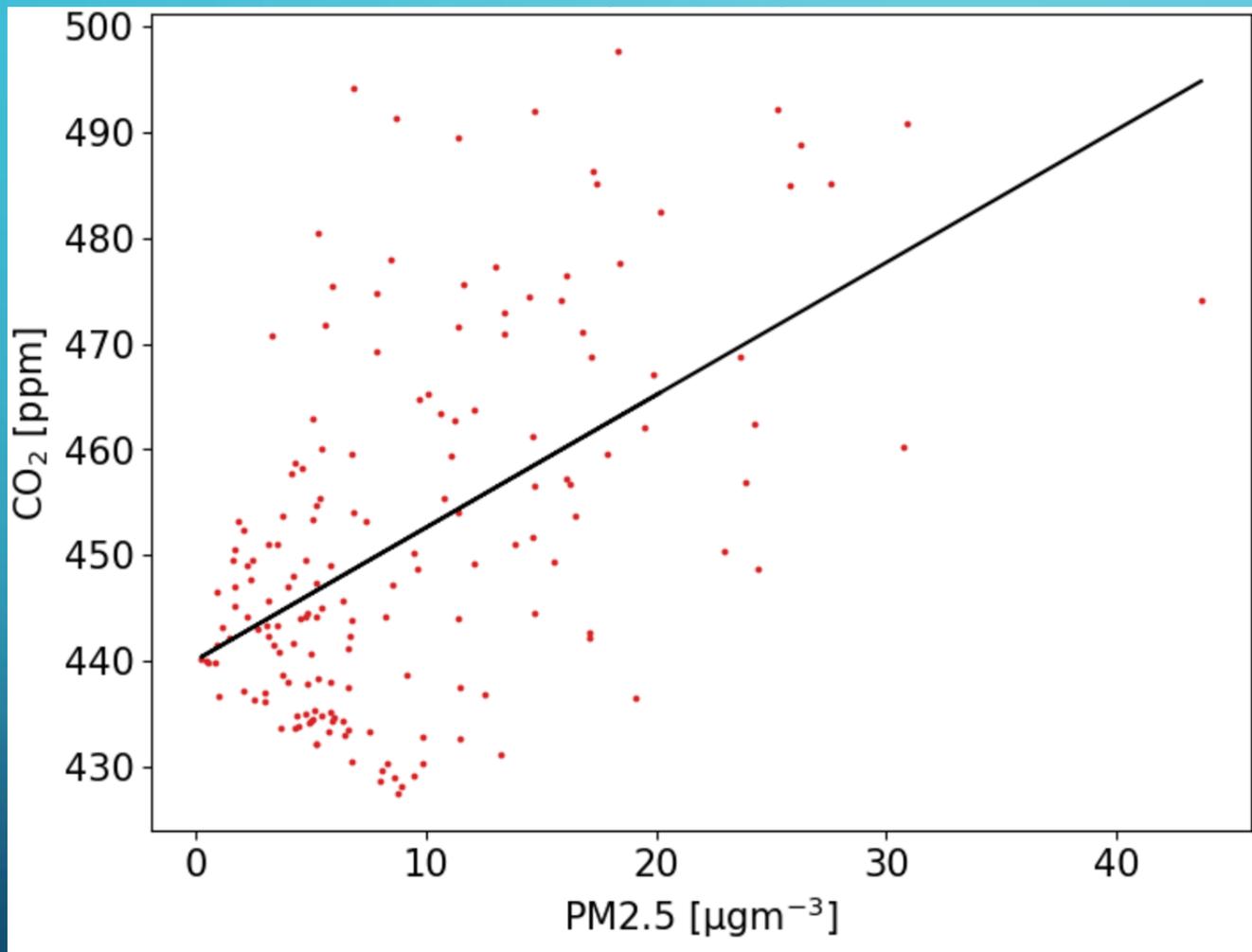
# 11/27~12/03 CO<sub>2</sub>(LI7810)&PM2.5



11/27~12/03  
までの二酸化  
炭素とPM2.5の  
1時間ごとの  
データを利用

グラフの変動が所々似ている、明日以降他の期間でも検証してみる

# 11/27~12/03 CO<sub>2</sub>(LI7810)&PM2.5



相関係数: 0.5300

回帰直線

傾き: 1.2552

y切片: 440.0395

11/27~12/03までの  
二酸化炭素とPM2.5の  
1時間ごとのデータを  
利用

相関係数が0.5より大きく、相関があるといえる